

第1回千里浜海岸保全対策検討委員会技術専門部会 議事要旨

1. 日 時：平成 18 年 3 月 1 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
2. 場 所：石川県庁 13F「1311 会議室」
3. 出席者：石田委員、山本委員（東海大）、鷺見委員、山本委員（国総研）
4. 議題
 - （1）議事公開の可否について
 - （2）千里浜海岸の保全について
 - ・主な検討事項
 - 1）侵食要因の把握
 - 2）保全対策工の選定
 - ・千里浜海岸の現況・課題（概要・特性・経年変化）、対策事例等
 - （3）千里浜海岸の現況・課題、対策事例等に対する各部会委員からの意見
 - （4）その他
5. 議事概要
 - （1）石川県土木部岡田部長から開催の挨拶が行われた。
 - （2）事務局から委員会の設立趣旨、設置要綱及び部会の設立趣旨、部会細則について説明が行われた。
 - （3）委員の互選の結果、石田委員が部会長に選出された。
 - （4）部会長から議事公開の確認が行われ、委員の了承を得た。
 - （5）事務局から「千里浜海岸の保全（主な検討事項、千里浜海岸の現況・課題、対策事例等）」について説明が行われた。各委員からの主な意見・質問は次項以降の通り。
 - （6）事務局から今後の予定の説明が行われた。
 - （7）事務局から閉会の挨拶が行われた。

討議者	討議項目	小項目	内容
山本委員 (国総研)	千里浜の概要	加越沿岸基本計画	七塚のリーフの計画は？その影響は？
事務局(県)			全体で5基計画(白尾地区で3基完了。木津地区で2基目に着手している)。汀線測量を毎年実施。
山本委員 (国総研)	千里浜の特性	沿岸の底質特性	底質拡大写真では石英(ガラス)質が少ないように見える。
石田部会長			有色のガラス質の可能性もある。また、角ばっているほうが摩擦力が強いことを以前確認済み。
山本委員 (東海大)		外力特性	徳光と金沢港の高波時の卓越方向が1方位以上ずれているが、これは地形的な影響なのか。
石田部会長			反射の影響もありそうだが今はなんともいえない。
山本委員 (東海大)			データは岸に近い徳光を用いたほうがよいのでは。
山本委員 (国総研)	海浜地形などの 経年変化	深浅測量による 海底地形	海底断面図の岸沖範囲を2,000m付近まで拡大した方が変化が分かり易い。
山本委員 (国総研)		広域的な汀線変化	平成4年から平成15年の侵食傾向が分かるように、可能であればその間の期間の空中写真解析を追加してほしい。
山本委員 (国総研)		手取川流域 と金沢港	拡幅浚渫とはなにか。浚渫した土砂はどうしているのか。
高村 オブザーバー			拡幅浚渫とは10m航路の幅を広げる浚渫。浚渫した土砂は、大浜地区の埋め立て、陸上部での公共工事、金石港の埋め立てなどに利用。
山本委員 (東海大)	全般	保全対策	近年、ダムで20万m ³ /年、金沢港で10万m ³ /年の計30万m ³ /年の土砂堆積があり、今後も千里浜は侵食し続けていくと考えられる。長期的には、サンドバイパス、中期的には千里浜～内灘間でのサンドリサイクル的なものによる対応が必要。また、冬季風浪による養浜砂の消失を制御するため、人工的な施設(小型の人工リーフ等)の設置も必要では。

討議者	討議項目	小項目	内容
石田部会長	全般	保全対策	人工リーフを作ると周辺の流れが岸沖方向に若干変わるので注意が必要で、工事費も莫大となり、費用対効果の問題もある。養浜砂の消失を防ぐことの検討は必要。 ひとつのアイデアとして、砂の粒土がほとんど一緒であることから、砂丘の有効利用が良いのではと考える。陸の砂丘の手前に土砂を盛り、自然の波によってそれらが海岸に流れていくことにより砂を汀線付近に敷き均す必要もなくなるので、そのような養浜も考えられる。
鷲見委員			底質の移動については入射波高が影響しているので、千里浜の波浪特性を把握することが大事である。対策工については、漂砂の動きを把握し、数値的、実験、現地など、様々な方法で探っていくのが良い。
山本委員 (国総研)			養浜材確保先の詳細検討が必要。金沢港の浚渫土砂や千里浜の水深 10m以深のほとんど動いていない沖合いの土砂調査等。鳥取県における総合土砂管理による海岸保全事例、相模湾の西湘海岸の検討(沖合土砂活用)も参考にして、河川・港湾・海岸の土砂収支を把握しての検討が重要。
石田部会長			養浜材の入手先の可能性はすべて探る必要がある。金沢港の土砂は細かいものも粗いものもあり、均等係数が非常に小さくばらつきがある。水深 20m以深の沖の土砂は、表層は粒径が近いので、パイプ輸送などによる養浜の可能性はあるが、漁業や環境への影響などが懸念される。
石田部会長	総括		今日の意見について次の技術部会で検討する。目的は、海水浴、車の走行、景観、環境関係、漁業関係、植物や陸上の環境、千里浜に来た人の精神的な満足感など、様々な項目について満足させることであり、世界遺産に近い貴重な海岸であると考えているのでなんとしても維持したい。今後、事業費などを考慮しながら総合的に検討を進めて、部会としての意見をまとめる。